

被扶養者の資格確認調査にご協力ください

当健康保険組合では、健康保険法施行規則第 50 条等に基づき、毎年被扶養者となっているご家族が現時点でもその資格を満たしているか確認調査を行っています。

本年度の対象は被扶養者をもつ特例退職被保険者です。提出期限は 8 月 16 日（金）となっておりますが、**未提出の方がいらっしゃいましたら至急お送りください**ますようお願いいたします。

なお、本年度は株式会社オークスに調査業務を委託しております。

全健保組合の2019年度予算状況が公表されました

健康保険組合連合会（健保連）は、2019 年度予算早期集計と共に「2022 年危機に向けた見通し等について」を公表しました。

2019 年度予算早期集計

～平均保険料率 9.218%、経常赤字 986 億円、赤字組合 6 割超

2019 年度予算の経常収支は 986 億円の赤字で、前年度予算に比べ赤字額は 371 億円減少しました。平均保険料率は 0.011 ポイント増の 9.218% で 12 年連続の増加、61.7% の健保組合が経常赤字予算となっています。

「2022 年危機」

～拠出金が急増し健保財政が崖に直面

2021 年までは後期高齢者の伸びが一時的に鈍化するものの、2022 年から団塊の世代が後期高齢者に入り始め、後期高齢者数が毎年約 4% ずつ増えます。現行制度のままでは拠出金負担の急増は必至で、2022 年度に実質保険料率 10% を超える健保組合は 601 組合、約 4 割が「解散予備軍」となると健保連は推計しています。現行の高齢者医療制度導入前の 2007 年に比べ 11 万円超増えて現在約 50 万円の被保険者 1 人当たり年間保険料は、2022 年推計では約 55 万円に達する見通しです。

現役世代に負担を強いるばかりでなく、医療費適正化や高齢者負担の見直しなど、多岐にわたる施策を講じるべきです。

※全 1,388 組合（2019 年 4 月 1 日現在）中、予算データ報告があった 1,367 組合の数値を基に推計



★ 編集後記 ★

残暑お見舞い申し上げます。最近「睡眠負債」という言葉をよく耳にしますが、夏バテ予防には十分な睡眠をはじめ、バランスの取れた食事や適度な運動等が必要と言われていています。今号ではビタミン豊富な夏野菜を取り入れたレシピを掲載しました。どうぞお試しください。

● 「My Health」へのご意見・お問い合わせは、当健保組合ホームページの「Web でのお問い合わせ」まで